

災害に強い「まち」、強い「くに」とは…？（その2）

「危険な所」から「安全な所」に
いろいろなモノが「移されて」いる

自助 & 公助

まず、「危険な場所」がどこかを考えます。そしてその危険な場所にあるいろいろなものを、できるだけ「安全な場所」に移していきます。これができれば「まち」も「くに」も災害に強くなります。どんな所が危険かと言えば…

- ①「津波が来る」と言われている海辺（しかも、堤防なし）
- ②「洪水になる」と言われている川辺（しかも、ダムも堤防もない）
- ③「地震が来る」と言われている「まち」（しかも、地震によわい建物）
- ④「埋め立て地」（よく揺れ、液状化しやすい）
- ⑤「急ながけ」の下（がけ崩れ、になりやすい）
- ⑥「谷筋」の場所（しかも、砂防ダムなし。土石流の被害にあいやすい）

考えてみよう このイラストの
「まち」や「くに」、
何をどこに移動させれば、強くなる
のか考えてみよう。

- ポイント1
全てをすぐに移すことはできないので、何を優先すればよいでしょうか？
- ポイント2
移すことが無理な所は、どのように強くすればいいのでしょうか？
（前のページなども見ながら考えてみよう）

チャレンジレベル

巨大地震が想定されるところに、たくさんの人々が集中している日本。どうすれば巨大地震に対して、強くなるのでしょうか？ いろいろな角度から考えてみよう。

首都直下地震が想定されるエリア。人口の約3割が含まれる。

南海トラフ巨大地震が想定されているエリア。人口の約7割が含まれている。

